



国際ロータリー第2630地区 岐阜A分区

岐阜中ロータリークラブ

Weekly Report

平成 24 年 5 月 15 日(火)

第 1010 回例会 第 932 号

会 長 伊 藤 善 男
 幹 事 加 納 永 一 朗
 発 行 ウェブ委員会
 例 会 火曜日 12 時 30 分
 会 場 岐阜都ホテル
 事務局 岐阜市神田町 2-2
 電 話 058-264-9235

クラブスローガン
明るく楽しい例会づくりで
100%出席を目指そう

2011-12 RI テーマ

こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

会 長 挨拶

会 長 伊藤善男会長



さわやかな季節となりました。今年の5月5日こどもの日、端午の節句は二十四節気の一つ、立夏と重なりました。日本では端午の節句は男の子の祭りであり、鯉のぼりを立てたり、兜を飾ったりして、健やかな成長を祈願する。この端午の節句、中国から伝わったものです。

中国戦国時代、5月5日、楚の詩人屈原が汨羅の淵に身を投げて命を絶った。このため、この日に競艇を行い、その死を悼む風習が生まれたという。この端午の節句はもともと非業の死を遂げたものへの鎮魂の祭りだった。その後、端午の節句はもう一人、非業の死を遂げた人物と結びつく。その人は鍾馗しゅうきである。鍾馗は色々あって、唐

王朝を守護する魔除けの神となり、明の時代になると民間の神となり、家々では端午の節句にその画像をかけ、邪気を払う魔除けにした。この風習が日本にも伝わってきた。

不幸な死者の荒れ狂う魂を鎮める儀式、魔除けの神を祭る風習が生まれたのは、立夏から次第に暑さが増し、人が心身ともに不調に陥りやすくなることと関わりがあると思います。

皆さん十分に体に気を付けて下さい。

友情と奉仕の灯を

スマイルボックス委員会

岐阜エトスロータリークラブ

会 長 柳原英三様

5月19日(土)午前10時~11時30分まで岐阜グランドホテルにて、岐阜エトスロータリークラブ設立20周年記念事業として、放射線に関する正しい知識を得るための講演会を企画しました。放射線医学総合研究所に所属されていた研究者に「放射線・恐れず侮らず」という演題で、一般市民向けにお話ししていただきます。参加していただきますようよろしくお願いたします。

★お誕生日おめでとうございます★

宮地正直君

年齢を重ねてここまでまいりました。より世の中のためにがんばれますよう。

★結婚記念日おめでとうございます★

三宅裕樹君

23回目だったような。

松井順五君

卓 話

卓話者 秋保賢一会員

※卓話は岐阜中ロータリークラブホームページへ掲載予定です。



前例会の記録

第1009回

平成24年5月8日(火)

[点鐘] 12時30分

[ソング] 君が代・奉仕の理想

[ゲスト]

[ビジター]

[出席] 会員総数34名 (出席免除5名)

本日出席26名 76.47%

[行事] 卓話

秋保賢一会員

担当 職業奉仕委員会

次 回 予 定

第1011回

平成24年5月22日(火)

[点鐘] 12時30分

[行事] 卓話

ますみ税理士法人

代表 森島秀治様

担当 会員増強委員会